



広報

さるま



(富武士漁港での船おろし作業)

1992

No. 414

4

佐呂間町民憲章

若い力をそだて、伸びゆく文化のまちをつくります。

平成四年度

町長施政方針

町政執行に

向けて

ご承知のとおり、私は町民の皆様から町長として町政の執行を委ねられたのは、昭和六十三年九月から本年九月までの四年間であります。

本日ここに平成四年度町政全般に亘る予算案を提出することは適切ではないとは思いますが、改選期が九月で年度半ばにあり、経常経費の予算化は当然必要であり、事業費についても継続事業はもとより、新規事業にいたしましても数年前から計画的に国や道に要請していたものであります。したがって、この三月定例会には平成四年度における全体予算を計上させていただくことのご理解

を願うところであります。

只今申し上げましたが、私の任期は本年九月を以て満了となりますが、今日までの間、議員各位並びに町民の皆様の方に余るご協力とご支援をいただき、町政を執行できましたことを心から感謝とお礼を申し上げる次第であります。

さて、この時期に私の身上進退を明らかにすることは、時期尚早かと存じますが、私が約四年間町政を担当させていただき佐呂間町の将来を展望するとき、勇氣と情熱を持って再度町民の皆様のを審判を仰ぐ所存でございます。

そして、皆様のご支持を得て再選されたときには、新たな気持ちで尚一層職務に精励し、多くの町民の方々と共に知恵を出し合い第二期町

総合計画を基本とした町政の執行を推進し「大地に根ざした自然と英知を育むまち」を建設するため創意と英知を結集し、活力に満ちた郷土と人間性豊かな住みよい町づくりにより全力を傾注する所存であります。

私は町政執行に当たり、初心を忘れることなく常に町民の立場を堅持し、公平、公正を旨とし広く町民の皆様からご意見をいただき、その付託に十分お応えするよう最善を尽くして参ります。

第二期町総合計画がスタートして本年は二年目を迎えるところですが総合計画の中では、産業、教育、福祉のあらゆる分野において将来展望のもと盛沢山の課題が挙げられており、限られた財源を最大限に活用して、その目的達成のため努力したいと考えております。

昨年は中近東湾岸戦争の勃発、ソ連邦の消滅、バブルの如く膨れあがった日本経済もいとも簡単に崩壊し経済、社会に大変な不安を招いた年でもありました。更に好景気の波に乗って自治体が地域開発のため、民間企業と提携し大規模リゾート開発計画が各地に進められ、その一部の行為が政治不信にまで及んだことは

誠に残念なことであります。自治体を預かる者として、決して対岸の火事にしてはならないことと肝に銘じております。

今、地方行政は地方自治体が自ら考え、自ら実行する地域づくりが強く求められており、住民の意志を行政に反映した住民参加による地域活性化対策を中心とした事業の推進による町づくりを、財政の健全化に配慮しながら進めて参りたいと思っております。

国・道の主なる事業

平成四年度の国家予算は、現在国会で審議中ではありますが、生活を重視した社会資本の充実を主眼とした生活関連事業の拡大を図るなど、歳出では公共事業費が二一・八%台の伸びをみており、今年度町内では次の事業が進められる予定であります。

国の事業

○国道二三八号線佐呂間大橋架換工事と関連道路の整備

○国道三三三三三号線若佐市街交差点改良工事の着工

○第四種サロマ湖漁港建設工事の

促進

○国道二三八号線富士橋周辺道路整備の調査計画

○国道三三三号線旭峠線形改良事業の調査計画

道の事業

○道道留辺蘆浜佐呂間線外の道路改良工事

○佐呂間別川河川改修工事

○第八次漁港整備計画による富士漁港の拡張工事

○道営畑総事業の継続実施と新規佐呂間西部地区事業の着手



○道営草地整備事業の着手

以上、懸案事業の実施見通しについて申し上げますが、今後も地域産業の開発に係る諸施策の推進についての要請に鋭意努力いたします。

新年度予算編成の基本的な考え方

平成四年度予算編成に当たり指針となるべき町総合計画に基づき、事業計画の推進を図り継続事業を計画通り実施し、新規事業については、

事業の緊要性と特定財源の確保に配慮しながら選択し事業の完遂に努めたい。

また、財政運営については極力経常経費の節減に努め、財政計画に基づき効率的な予算執行を図り、最少の経費で最大の効果を挙げるよう努力いたします。

新年度の

主な施策

- 一、開基百年記念事業計画の樹立
- 一、百年広場建設事業の促進
- 一、特別養護老人ホーム大規模改築の施工
- 一、肉牛肥育センター建設事業の推進
- 一、中山間地域農村活性化総合整備事業の調査計画
- 一、下水道整備計画の促進

予算編成

新年度予算案の主な内容を申し上げます。

一、産業関係

農業にあつては、基盤整備を継続、新規を含め計画に基づき事業化して参ります。農業技術センター整備事業も三年目となり、一部利用をしながら施設の充実を図り、本町における畑作振興に大いに貢献するものと期待するところであります。

更に、肉牛肥育センターの建設を計画し、只今、国・道に補助事業採択の申請中であるため今定例会には予算を計上しておりませんが、この事業については何度か町議会の皆様にご協議いただいているところではありますが、事業主体である農協とも十分協議しているところでもあります。なお、この事業が本年度採択になりましても完成までには三年乃至四年の歳月を要しますが、本町が酪農を基幹産業として政策を進める限りその副産物として生産される牡仔牛の肥育事業は、酪農の経営安定を図る

と共に大量の有機質肥料が生産され、三千ヘクタールを有する無畜農家へ良質の堆肥を供給することによって理想的な地力増進を図り、連作に耐え病虫害に強い作物の栽培に大きく役立つものと信じております。

更に、今年度は中山間地域農村活性化事業実施のため計画を立案する大切な年であります。

水産業にあつては、四月から水産廃棄物（ホタテウロ）処理工場の本格操業が始まりますが、その成果を期待すると共に排出される粉末状に処理された残滓物の有効活用に向け、産・学・官の協力を得てその開発にも努力して参ります。

更に、富士漁港拡張整備、浜佐呂間漁港養殖保管作業施設の整備促進に努力して参ります。

林業にあつては、資源活用型林業構造改善事業が初年度として事業が始まりますが、付加価値の高い製品の生産に期待するところであります。

更に、昨年の林政審の答申で林野庁の国有林野経営改善計画が出され、北見営林署が佐呂間営林署

に統合されその管理面積は四万二千ヘクタールとなりました。木材加工業を多く抱えている本町としては喜ばしいことであり、地元林業の振興に努めて参ります。

観光開発にあつては、年毎にサロマ湖を中心とした自然を求めて本町を訪れる観光客の入り込みは増加の一途をたどっております。

なかでもサロマ湖展望台からの眺望は余りにも美しく大変評判であります。今、国・道にも事業の要請をしておりますが、国道二三八号線の線形改良と併わせてサロマ湖観光開発エリア整備事業の推進



に向け全力を挙げて参ります。

また、幸いなことには今年の雪解けから、永年の懸案であつた北海道振興株式会社の土地に係る許認可も下り、緑館の周辺整備に着手すると聞いております。この機会にこそ地元観光業者も含めて民間活力の導入により、本町の気候風土を活かした自然にやさしい観光開発への取り組みに努力いたします。

企業誘致にあつては、かねてより本町において三か年間、冬期間スノータイヤの実験を行つていました東洋ゴム工業株式会社が、関係者の協力を得て本格的な誘致の運びとなりました。許認可が下り次第工事に着手することとなりますが、本町の冬の寒さを活かしての地域開発は大変意義があり、行政の立場としてもできる限り協力して参りたいと考えております。

商工業にあつては、永年、商工会より要請のありました勤労者に対する持ち家制度の事業化が計画されており、町としても大いに協力して参りたいと考えております。この事業により本町に一人でも多く勤労者の定着に結びつくことを

期待するところであります。

一、福祉関係

福祉行政は何と申しましても血の通つた行政サービス、いわゆるソフト面での事業に大きく期待されるところであります。

昨年からは、本町は保健婦六人体制をとり住民の健康管理と保健衛生の指導など、その活動範囲は非常に広く多くの町民に信頼されているところであります。今年も尚一層充実した活動ができるような条件整備をして参ります。また社会福祉協議会の活動も年毎に活発化し、多くのボランティアの協力により着実にその成果が評価されてきております。今年も社会福祉協議会の活動が地域福祉の増進のため、より充実強化されるよう支援して参ります。

次に、特別養護老人ホームの増改築の件であります。これは昭和五十年に建設されたものであり、屋根などがかなり損傷している状態にあります。また厚生省の指導では一室四人体制となつておりますが、本町の施設は一室六人と室内が狭く不便をかけております。

でこれを解消し、併せてショートスティ並びに個室の確保も計画しており、加えて防火設備の整備充実を図り入居者の安全確保に配慮して参りたいと考えております。

しかし、この事業は目下国に予算要求をしているところであり、まだ予算化できませんが、事業が決定した時点で補正予算により対応させていただきますと思います。

一、土木関係

道路交通網の整備は急務であり、総合計画に基づく町道整備は年次計画により改良舗装工事を推進いたしておりますが、本年度は朝日三十四号道路外十一路線の改良舗装工事を計画いたしました。

また、この他に道営畑総事業、農道整備事業などにより道路改良工事が施工されます。

更に、町総合公園整備事業も最終年次となり、本年は事業を完了させ町民にこの場として、多くの人達に散策やレクリエーションなどに広く活用いただきたいと思っております。

一、教育関係

国際化時代に対応した教育の充実を図るため、英語指導助手を招

へいし語学力の向上と異文化への理解を深めていただき、国際社会に適応した人づくりに努めたいと考えています。

学校施設については、昨年同様佐呂間中学校の大規模改造、知来小学校便所の水洗化など、年次計画による整備を実施して参ります。学校給食については、昨年同様に調査活動を進め、実施に向けての準備を整えておきたいと考えております。

又、文化活動の一貫として大いに利用していただいております図書館の一部改修を行い蔵書などの整理、更には町民センター内部の一部改修により利用者の利便を図って参ります。

一、その他

○通称「百年広場」の整備に着手し、スポーツ文化ゾーンとして今年度は道路、パークゴルフ場、ゲートボール場、更にグリーンベルトを中心に造成して参ります。

○姉妹都市交流事業をはじめ国際交流の輪を広げ多くの町民に理解と友好を深めていただき国際親善の促進を図りたい。

○東京サロマ会を中心に人的、物的両面での地域間交流を推進し、地場産品の消流と地域の活性化に努めて参ります。

○遠軽地区広域組合の事業の見直しを行い、消防体制は職員と施設の拡充により消防、救急体制の充実強化を図りたい。

更に遠軽地区隔離病舎を廃止して、紋別市隔離病舎に診療委託することとした。

○地域集会施設設置補助の見直しを行い、新築及び増改築に係る補助率のアップを図り施設整備により地域住民のコミュニケーション



ションと自治会活動の育成強化に努めたい。

平成四年度一般会計予算は、総額五十六億五千七百九十九千円となり対前年比四・九%の増となります。

特別会計は、簡易水道、と場、国民健康保険、老人保健の四会計で特記すべき事業はありませんが、国民健康保険の事業費のうち人件費分が一般財源化され、更に助産費及び国保財政安定化支援事業に係る経費相当分が一般会計から繰り入れすることになり、地方交付税に所要の措置が講ぜられることになりました。

特別会計の予算総額は、十六億六千七百五十九万四千円となります。

一般会計及び特別会計の予算総額は、七十三億二千四百六十九万三千円となります。

以上、平成四年度の町政執行に当たり、総合計画を基本とした長期展望に立つて効果的な財政運営を図り、常に職員の資質向上に努め住民本意の行政サービスに徹し、開かれた町政の推進と住民福祉の増進に努め、明るく住みよい豊かな町づくりに精進いたす決意であります。

議会のうごき

平成四年第一回定例会が三月十一日から二十一日まで開会され、条例や予算などが議決されました。

条例

◎特別職及びその他の報酬額、費用弁償額及びその支給方法に関する条例の一部改正

第一回臨時会で総務財政常任委員会に付託となっていました特別職及びその他の報酬額、費用弁償額及びその支給方法に関する条例の一部が改正され、特別職及びその他に支給される報酬額が改正されました。

◎職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

第一回臨時会で総務財政常任委員会に付託となっていました職員の特殊勤務手当に関する条例の一部が改正され、特殊勤務手当に「と殺業務手当」が追加されました。

◎サロマ湖地域水産廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の制

定

第一回臨時会で産業建設常任委員会に付託となっていましたサロマ湖地域水産廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例が制定されました。

◎佐呂間町草地整備改良事業分担金徴収に関する条例の制定

第一回臨時会で産業建設常任委員会に付託となっていました佐呂間町草地整備改良事業分担金徴収に関する条例が制定されました。

◎職員の育児休業等に関する条例が制定されました

◎佐呂間町若佐診療所使用料等徴収条例が制定されました

◎佐呂間町教育相談員設置条例の制定

佐呂間町教育委員会に教育相談員が設置されました。

◎佐呂間町農業学園設置に関する条例を廃止する条例の制定

佐呂間町農業学園設置に関する条例が廃止されました。

◎佐呂間町農業学園講師の旅費支給

条例を廃止する条例の制定

◎佐呂間町農業学園講師の旅費支給条例が廃止されました。

◎佐呂間町農業学園舎目的外使用条例を廃止する条例の制定

佐呂間町農業学園舎目的外使用条例が廃止されました。

◎佐呂間町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

佐呂間町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部が改正され、「印鑑登録原票の複写により交付する。」を「電子計算機又は複写機により作成する。」に改正されました。

◎佐呂間町若佐歯科診療所の使用料等徴収条例の一部が改正されました

◎佐呂間町畜犬取締及び野犬掃とう条例の一部改正

佐呂間町畜犬取締及び野犬掃とう条例の一部が改正され、条例に違反した時の罰金又は料金が、違反した規定により「五千円から三万円」が「三万円から十万円」に改正されました。

◎佐呂間町国民健康保険条例の一部改正

佐呂間町国民健康保険条例の一部が改正され、助産費の支給額が「十

三万円」を「二十四万円」に改正されました。

予算

◎平成三年度佐呂間町一般会計予算が次のとおり補正されました

五千六百四十三万九千円を減額し
予算総額が六十四億三千九百九十六万九千円になりました。

◎平成三年度佐呂間町簡易水道特別会計予算が次のとおり補正されました

八十八万二千円を減額し、予算総額が一億七千五百二十九万九千円になりました。

◎平成三年度佐呂間町国民健康保険特別会計予算が次のとおり補正されました

三千六百六十二万六千円が追加され
予算総額が六億六千九百九十四万四千円になりました。

◎平成三年度佐呂間町老人保健特別会計予算が次のとおり補正されました

一千百三十一万一千円が追加され
予算総額が一億一千五百九十三万円になりました。

同 意

◎固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めることについて

佐呂間町固定資産評価審査委員として、次の方の選任について議会の同意がありました。

佐呂間町字永代町八〇番地の二
榎 本 信 一氏（六十四歳）

損害賠償

◎損害賠償の決定について

自動車事故による損害賠償の額が次のとおり決定しました。
損害賠償の額
二百四十六万二千三百二十四円

そ の 他

◎道営草地整備改良事業に伴う負担金、分担金の納入及び施設の維持管理について

負担金・分担金
負担額及び分担金納入額
道営事業費の二二・五％の額
納入先
北海道知事

維持管理施設

道路 一一、四二〇m

排水路 三、一〇〇m

◎遠軽地区広域組合規約の一部が変更されました

◎紋別市隔離病舎の使用に関する協定書が締結されました

◎財産の処分

遠軽地区広域組合伝染病隔離病舎廃止に伴い建物、備品等の財産が処分されます。

第一回定例会

町長行政報告

(要旨)

◎肉牛肥育センター

事業計画について

事業主体であります佐呂間町農協との協議も整いましたので、網走支庁を通じて道庁へ畜産活性化総合対策事業として計画書を申請しましたところ、農林水産省との事前協議もおおむね終了し、四月十日には地元との実施協議が行われる見通しとなりました。

◎サロマ湖第二湖口導流堤

保全対策について

サロマ湖第二湖口導流堤の保全と流水流入対策を検討するため、昨年四月検討委員会を設置し調査検討の結果、湖口の外側と内側に水深二十m位のすり鉢状の深掘れがあり、年々湖口施設が侵食してきている現状から早急に対策を講じる必要があると判断され、本年度から道の事業として深掘れ対策事業が約二億円の事業費をかけて床止工事が施工されることになりました。

◎電算システム

単独導入について

昭和五十四年から訓子府町外四町で電算事務共同処理を運営して参りましたが、電算機器の研究開発が進み町単独で導入できる電算システムが開発され、一昨年よりその導入に取り組み、昨年十月機械の搬入据え付けを行い準備を進めて参りましたが、本年四月一日から事務処理を開始することになりました。

これからは住民窓口を中心に事務の機械化、スピード化が図られ、住民サービスの向上に努めたいと思います。

ます。

◎役場電話機取扱の

変更について

従来交換手を配して住民と役場内との電話交信を図っておりますが、この度交信のスピード化と経費の節減を図るため、役場の電話システムを変更して住民から用件のある担当課へ直接電話をして頂く方法に改めますので、電話番号になじむまで住民の方には少し戸惑いがあるかもしれませんが、電話番号の周知など徹底を図りご理解を願ってご協力をいただきたいと思います。

◎遠軽地区広域組合事務の

一部変更と消防体制について

伝染病予防法に基づく遠軽地区伝染病隔離病舎を遠軽地区七か町村で設置して広域組合で運営して参りましたが、この度遠軽厚生病院の移転改築に伴い老朽化した隔離病舎の存続について検討いたしました。新築には相当多額の事業費を要し、また伝染病患者も昭和五十八年以来発生をみていない現状に鑑み、道衛生部の指導もあつて同一広域圏内にある紋別市伝染病隔離病舎へ委託する

ことで協議が整いましたので、遠軽地区伝染病隔離病舎を廃止いたしましたと思います。

消防体制については、以前から佐呂間支署の人員体制について増員の要請があり、更に道の指導もありましたので消防計画（未定）による各署基準は十六名体制とされており、本町は現状十名体制で勤務しております。

火災件数は減少しているものの、救急出動は毎年増加しており輪番勤務体制にも無理があるところから、救急体制の強化充実と迅速化を図るため、佐呂間支署職員を三名増員し十三名体制とし三部制勤務をとることにいたします。なお、職員の配置については教育訓練の都合もありますので、年次計画により増員して参りたいと思います。

◎開基百年記念

事業について

本町は平成六年開基百年を迎えるに当り、広く住民の意見を聴くため一昨年十月に記念事業委員会に諮問しましたところ慎重に審議され、昨年十月に中間答申をいただき、更に昨日は開基百年記念事業委員会の森

田会長から最終答申をいただきましたので、平成六年に向けて具体的な事業計画と実施機関の設置を図り事業を推進するための計画づくりをいたしたいと思います。

◎交通事故の

損害賠償について

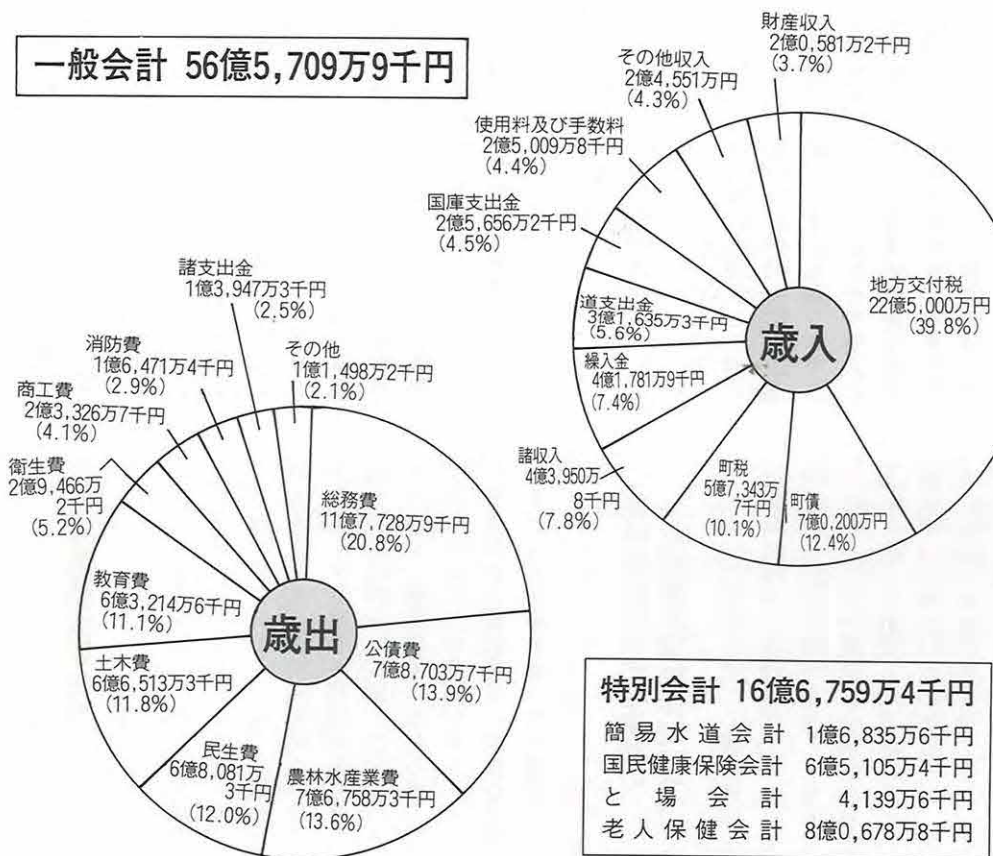
昨年十二月九日、置戸町に於て町職員が起きました交通事故について、先般ご報告申し上げその損害費用の負担について補正計上いたしました。この度物損事故分に係る債務が確定し支払をいたしました。

また、人身障害事故分についてはまだ継続治療をされている方がいますので治療確定次第ご報告いたします。

平成四年度予算

総額 73億2469万3千円

一般会計 56億5,709万9千円



平成4年度主な事業

一般会計

事業名		事業内容		事業名		事業内容	
総務費	航空写真作成委託	カラー写真引伸 50枚		土木費	富丘33号道路改良舗装工事	改良、舗装 L=140m W=5.5m 用地補償	
	100年広場整備事業	連絡路L=540m、橋梁整備L=20m、オールラウンドパーク造成、レストハウス新築、スポーツパーク造成、グリーンパーク造成、用地購入、武道館、温水プール実施設計委託			登加呂地第1橋架換工事	L=6.0m W=5.0m	
商工費	サロマ湖観光開発事業	サロマ湖展望台照明整備工事 サロマ湖展望台外構整備工事（木造便所1棟） 登山遊歩道内給水施設、連絡道路設計委託		木	バス待合所新築工事	サロマ湖畔、トカロチ浜 2基新設	
					佐呂間町総合公園整備工事	植栽工事、法面工事、案内版、駐車場、モニュメント水飲場等	
民生費	高齢者緊急通報システムセンター委託	端末機購入 30台 委託料 12か月分		費	公営住宅建設事業	西富公住新築 PC造 1棟8戸 566.85㎡	
衛生費	サロマ湖外構工事	舗装工事、植栽工事外			下水道対策事業	基本計画策定委託料 （基本構想、全体計画 120ha） （事業認可設計 第1期事業 70ha）	
農林水産費	道営土地改良事業負担金	畑総1期 北富、栃木、佐呂間西部 明渠排水 L=1,660m 農道改良 L=3,520m 暗渠排水 A=37.0ha 畑総2期 佐呂間西部 暗渠排水 A=30.0ha 農道調査外 L=2,000m 草地整備 佐呂間 暗渠排水 A=4.0ha 起伏修正 A=36.8ha 農免農道 富丘2期 橋梁上部工、改良舗装 L=220m 過疎農道 知来 農道改良 L=400m 農地保全 西佐呂間地区 石礫除去 A=10.0ha 大成、浜南 明渠排水 幹 L=849m 支 L=578m		消 防 費	防火水槽吸水管取付工事	西富、浜佐呂間防火水槽 吸水管2か所	
	土地改良総合整備事業負担金	仁倉北地区 明渠排水 L=62m			救急自動車購入	救急自動車 2WD型 2B型 乗車定員10名	
	農業技術センター整備費補助金	パイプハウス 226.56㎡ 1棟 加温パイプハウス 373.5㎡ 1棟 トラクター、除雪機、ティラー付腐機、防虫施設			水槽付消防ポンプ自動車購入	水槽付消防ポンプ自動車（第2分団更新用） 水槽容量 2,000ℓ	
	公共育成牧場整備事業	草地整備 49.2ha 用排水 12.4ha 隔障物 2,200m 測量調査委託			佐呂間中学校大規模改築工事	家庭科室等棟改修工事 40年建築 R造 2階 654㎡ 外内部、電気設備、機械設備改修	
	可有林整備事業	保育事業、素材生産事業委託、造林事業、林道作業道草刈事業			知来小学校校便所改修工事	改修面積 30.24㎡ 15人槽 建築主体、機械設備、電気設備	
	民有林人工造林推進事業補助金	人工造林、下刈、除間伐			英語指導助手招へい事業	英語指導助手（JET） 給料8か月、入居住宅改修、住居用備品、旅費保険料等	
	新沿岸漁業構造改善事業補助金	増養殖作業保管施設（浜佐呂間漁港） 建物 1棟 688.5㎡ 給排水施設一式			姉妹校交流事業	児童、教職員等のバーマ市派遣 （児童8名、職員1名、教師1名） 旅費、消耗品、補助金	
土木費	朝日34号道路特改四種工事	改良 L=340m W=5.5m		育 費	町民センター改修工事	・内壁面張替 ・ステージ袖塗装 ・2階廊下床面、壁面張替 ・各室改造により和室、物品庫を設置 ・玄関外照明設置	
	富武士市街道路改良舗装工事	改良、舗装 L=270m W=4.0m 用地補償			図書館増改修工事	増築工事 120.5㎡ 改修工事 23.5㎡ 外構工事 70㎡ 備品購入	
				スキー場ゲレンデ改修工事			
				スキー場リフトワイヤー張替工事			
				特別会計			
事業名		事業内容		事業名		事業内容	
簡易水道	浜佐呂間水源池取水口改良工事	VU管 φ150 216m					

保険料が四月から

変わります

これまで国民年金の保険料は月額九千円でしたが、平成四年四月から月額九千七百円になります。

年金を支給するために必要な財源は、加入者の方が納める保険料と国の負担によって賄われていきます。

国民年金を健全に運営していくための保険料改定ですのでご理解をお願いします。

保険料を前納すると

割引されます

保険料の納め忘れをなくす方法として、一年分の保険料をまとめて納める前納制度があります。

前納制度を利用しますと保険料が割引されますので納期限毎に納めるよりも安くなります。ただし、前納の納期限は四月末日までとなっていますので、納め方など詳しいことは年金係へおたずねください。

国民年金保険料の納付は
口座振替が便利です

将来年金を受給するためには、きちんと保険料を納めていく一歩の積み重ねが大切です。

六十五歳になった時に「若い時きちんと納めていれば」ということにならないように、毎月の保険料は忘れずに納めましょう。

また、保険料を毎月納めることが「めんどうだ」、「ついうっかり忘れてしまう」という方には口座振替の利用をお勧めしますので、取り引きのある金融機関の窓口へ印かん、納付案内書、預金通帳をお持ちになって手続きしてください。



国保一口メモ

14日以内にならず届出をしましょう

	こんなときには届出を	持参するもの
国保に入るとき	他市区町村から転入してきたとき	印かん、転出証明書
	他の健康保険をやめたとき	印かん、健保の離脱証明書
	生活保護をうけなくなったとき	印かん、保護廃止決定通知書
	子どもが生まれたとき	印かん、保険証、母子健康手帳
国保をやめるとき	他市区町村へ転出したとき	印かん、保険証
	他の健康保険に加入したとき	印かん、国保と健保の保険証
	生活保護をうけるとき	印かん、保険証、保護開始決定通知書
	死亡したとき	印かん、保険証、死亡を証明するもの
その他のとき	退職者医療制度に該当したとき	印かん、保険証、年金証書
	退職者医療制度に該当しなくなったとき	印かん、保険証
	住所、世帯主、氏名などが変わったとき	印かん、保険証
	保険証をなくしたとき、よこれて使えなくなったとき	印かん、使えなくなった保険証、身分を証明するもの
	修学のため子どもが他市区町村に下宿するとき	印かん、保険証、在学証明書
	長期旅行などで別個の保険証がほしいとき	印かん、保険証

問い合わせ先（ふ二一三三二一）

国民年金
国保一口メモ
民生課年金係
民生課保険係被保険者証はまちがいに
使いましょう

医療機関では、被保険者証によってみなさんが国保に加入していることを確かめ、保険による診察を行います。

他市町村への転出や職場の健康保険に加入したときは直ちに届出をして被保険者証を返却してください。

国保の資格がなくなったあとで国保を使用して病院にかかった場合、国保で負担した分の医療費を返納してもらうことになります。

こんなときは必ず届出を

世帯主の方は、世帯に属する被保険者の資格に別表のような異動があった時は、必ず十四日以内に届出をしてください。

衛生だより

ごみの減量に協力しよう

ごみの中味を調べてみると、まだ十分使えるものが少なくありませんし、回収して活用可能なものも相当含まれています。

私たちの努力しだいでは、ごみはもともと大幅に減らすことのできる問題です。清潔で住みよい街づくりのためにも、また限られた資源を有効に利用するという意味でも、一人ひとりがごみの出し方について再点検してみてください。

…ごみの正しい出し方…

(一) ごみは決められた日、決められた場所に出そう。

(二) 台所の生ごみは、水分をよく切ってから出そう。

(三) 資源ごみ(新聞・雑誌など)は、廃品業者か再資源業者へ出そう。

(四) 再利用できるびん(酒・ビール)

減らそうごみ 生かそう資源



ルビンなど)は、販売店に引き取ってもらおう。

(五) 家電製品などは買い替えの際に下取りしてもらおう。

(六) 捨てる前にもう一度「ごみ」か「資源」かを考えてみましょう。

(七) ごみの集積所はいつも清潔にしましょう

河川、山林等にごみを投棄している状況が見受けられます。他人の土地はもちろん、自分の土地であっても保健所の許可を受けなければ違法となります。ごみは決められた場所に飛散しないように搬入してください。

福祉ガイド

補聴器や義手義足などの補装具が必要なときは

身体障害者の方で、補聴器や義手義足などの補装具をつけることによって仕事や日常生活に、より以上の活動能力が期待される方には補装具が交付されますし、その修理を受けることができます。

ただし、身体障害者の属している世帯の所得税額などに応じて自己負担していただく額が決められています。

また、申請の手続きをしないで補装具を購入した場合は、補装具の交付や修理は受けられませんのでご注意ください。

◎補装具の種類

(一) 視覚障害

盲人安全つえ、義眼、眼鏡、点字器

(二) 聴覚障害

補聴器

(三) 言語機能障害

人口喉頭

(四) 肢体不自由

義手、義足、装具、車いす、

電動車いす、歩行補助つえ、歩行車等

(五) ぼうこう又は直腸障害

ストマ用装具

(六) 平衡機能障害

頭部保護帽

(七) 脊椎障害

収尿器

◎申請手続

(一) 新規交付

補装具交付要否意見書

見積書、印かん

(二) 再交付

見積書、印かん

※意見書の用紙は社会係にあり

ます。

※見積書の業者は指定されています。

◎申請窓口

役場民生課社会係



問い合わせ先 (☎二二三三二二)

衛生だより
福祉ガイド
民生課衛生係
民生課社会係



新入学児を交通事故から 守りましょう

四月は、長い冬から開放されると同時に戸外での活動が活発になり、例年この時期になると交通事故が多発します。

また、四月は新入学の時期でもあり、希望に胸をはずませる子どもたちを交通事故から守ってあげることが大切です。

交通事故で悲しい思いをしないよう次のことに注意しましょう。

保護者の皆さんへ

子どもといっしょに通学路を実際

交通安全スローガン 青になっても よく見てわたろう おうだんぼどう

▶平成4年交通事故発生状況

(2月末現在)

発生件数	4	(3)
死者数	0	(0)
負傷者数	5	(3)

() 内昨年同期

▶交通事故死ゼロ500日目標

達成日 平成4年8月26日
3月末現在 352日です。

▶平成3年度交通安全標語入選作品

ゆびきりげんま こうつうルールまもうね
幌岩小 松永かなえ
安全は みんなで守る 宝もの
佐呂間小 野川由喜子
主役は君だ 交通安全
幌岩中 根本 郁広

交通安全推進員を委託

交通安全推進員に渡部巖右氏

町では、毎年のように発生する死亡交通事故の絶滅を願い、皆さんと交通安全を考え、推進していく交通安全推進員の業務を若佐の渡部巖右氏(六一歳)に委託しました。

今後、交通指導車で地域を回りながら交通安全の指導にあたります。



次会の運転免許証更新時講習会は
六月五日(金)です。

運転免許証更新時講習会

時間

簡素化講習

午後五時から

通常講習

午後六時から

場所

町民センター集会室

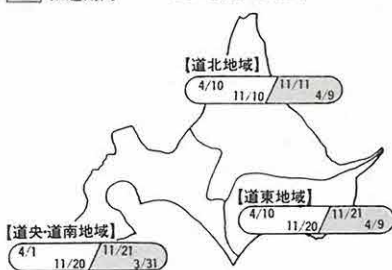
春です

タイヤの履き替えを

網走支庁他四支庁の道北地域では四月十日から十一月十日までは、原則として積雪または凍結している道路以外の舗装道路ではスパイクタイヤを使用してはならない期間となっています。

違反した場合には反則金が適用されます。

- ☐ スパイクタイヤ(スパイクタイヤを使用しては)使用規制期間(ならない期間)
- ☐ 脱スパイクタイヤ(スパイクタイヤを使用)推進期間(しないよう努める期間)



総合公園・交通公園

オープン

サロマ総合公園の開園

(五月一日から十月三十一日)

※ターザンロープ、滑り台等の遊具施設

※トリム・コース(十一ポイント)

※バッテリーカー(午前九時から午後五時まで、月曜日は休み)



・一回百円で九十秒間乗れます。
・一人で乗れる子どもで小学生までとします。

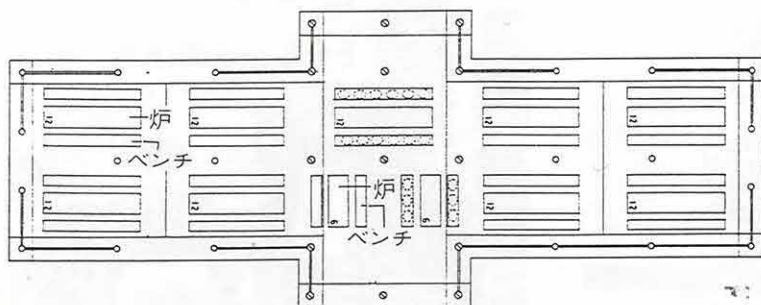
※バーベキュー・ハウス

(百二十名の利用可)

・午前九時から午後六時までに管理棟へ申し込みしてください。
(使用は午前九時から午後八時)



バーベキュー・ハウス見取図



・焼肉用の網かプレートは貸出しますが燃料の炭は各自持参のこと。
・使用後は網またはプレートを洗淨し所定の箇所へ返却してください。また、後始末・火の始末には十分気をつけてください。
みんなの施設ですので大切に使用してください。

交通公園の開園

(五月一日から十月三十一日)

※鉄道記念館(午前九時から午後五時まで、月曜日は休み)

・展示場の見学は、片平食堂へ申し込んでください。
館内を清潔に、また展示物を壊さないように注意してください。



まちの話題

オール北海道

ATVサロマカップ

三月八日、浜佐呂間漁港特設会場を舞台にオール北海道ATVサロマカップが行われました。

ATVとは四輪のバギー車を使っ



て速さを競うレースで、大会は全国各地で開催されていますが、今大会は唯一氷上で行われる大会となっています。

大会には、町内から参加した六名を含め、東京・名古屋など全国各地から約百六十名が出場しました。

レースは二〇ccから三五〇ccまで排気量によりクラスを分けスピードを競う「スプリントレース」と、一周約三kmのコースを一時半走って何周できるかを競う「耐久レース」が行われ、選手たちはスピードとパワーあふれるレースを展開していました。



町内の芸人が揃いました

三月八日、町民センターで第四回佐呂間町職域芸能の夕べが行われました。

これは、佐呂間町文化連盟が主催したもので、町内の二十六の職域から約六十名の方が出演し、自慢ののどや踊り、隠し芸を披露しました。

出演者は、職場の代表だけあってそれぞれが芸人揃い、カラオケや民謡、ドジョウすくいなどがとび出すと、会場に詰め掛けた観客からは笑いや歓声があがっていました。



知来で健康講演会

3月16日、知来小学校で国保モデル地区健康講演会が行われました。

この講演会は、知来地区が平成元年に国民健康保険総合保険活動のモデル地区の指定を受けたことにより昨年に引き続き行われたもので、今回は講師に北海学園北見大学教授の田中満朗氏を招き「健康で安全な生活を願って」と題した講演が行われました。

参加者たちは、講演の中で「常に体を動かしていること」「心をすこやかに保つこと」が必要であると、改めて健康作りの基本を学んでいました。

献血にご協力

ありがとうございます

長年に亘り献血にご協力をいただいた町民の方に対し、日本赤十字社より有功章の贈呈があり、過日役場において助役より伝達されました。

これからの献血運動の推進にご理解のうえご協力をお願いいたします。



表彰者は次のとおりです。

◎金色有功章（五十回以上）

西 富 原 康朗さん

〃 岸本 利隆さん

宮前町 大宮 克美さん

〃 前田 正道さん

永代町 湯浅 茂夫さん

◎銀色有功章（三十回以上）

西 富 安藤 雅之さん

宮前町 青木 勝則さん

永代町 伊藤 光夫さん

浜佐呂間 春菜 治市さん

シンデレラ夢92

に向けてスタート

シンデレラ夢実行委員会主催により毎年秋に開催されているかぼちゃの祭「シンデレラ夢」に向けての全体会議が、三月一七日町民センターで行われました。

会議にはかぼちゃクラブ会員約二十名が出席し、まず今年で五回目を迎える「シンデレラ夢92」の開催について会員の意志統一を図り、役員体制とキャンペーンの取り組みについて話し合いました。

栄地区で敬老会

3月29日、栄公民館で栄地区敬老会が行われました。

栄地区の敬老会は毎年3月末に行われており、この日は85名の対象者のうち、今回新たに敬老を迎えられた6名を含む50名の方が出席し、敬老者と金婚祝を迎えられた2組の夫婦に町から記念品が送られました。

会場では、なごやかな雰囲気の中婦人部の方々による歌や踊りが披露され、出席したお年寄りたちは用意された料理を味わいながら楽しい一日を過ごしました。

金婚祝対象者 啓 生 坂元菊麻・キクエ夫婦
共 立 縄富次郎・ふゆ夫婦



実行委員会では「今年も皆様に十分楽しめる祭りにしたいと考えていますのでぜひご期待ください」とのこと。

また、かぼちゃクラブでは会員の募集を行っていますので興味のある方は佐呂間町農協内 室井公裕（☎二一三三四一）か佐呂間町教育委員会内 桜井政彦（☎二一三七〇八）まで連絡してください。

お知らせ おこと

町や関係機関からの
お知らせ、行事の案
内をのせています。

**92インターナショナル
オホーツクサイクリング
参加申し込みについて**

開催日程 平成四年七月十日（金）
～十二日（日）

参加予定人数 一、三〇〇人

参加費用 一三、〇〇〇円

参加申込 平成四年五月七日（木）
～十五日（日）まで

（申し込み受付期間中、定員にな
り次第締め切ります）

申込方法

申込書と参加費を同時に実行委
員会事務局宛、現金書留により送
付してください。

※詳しくは役場総務課（☎二二三三
一一）まで問い合わせください。

確定申告が 間違っていたときは

確定申告を提出した後で、申告内
容に間違いがあることに気付いたり
うっかりして確定申告書の提出を忘
れている方はいませんか。
もう一度確認してください。

申告内容が間違っていて税額が少なく
なるときは「更正の請求」を、逆に
多くなるときは「修正申告」を、確
定申告を忘れていたときは「確定申
告」を直ちに行ってください。

詳しくは、北見税務署（☎〇一五
七二二一七二）まで問い合わ
せください。

中央道路「百年記念誌」 が発刊されます

中央道路（北見道路）の開通百年
に当り、更に北網圏域の二十一世紀
への飛躍への出発点とするために、
その歴史を振り返り数々の犠牲者へ
の鎮魂と先人の労苦をたたえ、併せ
て後世への贈り物として『中央道路
百年記念誌』を編さん発刊すること
となりました。

現在編さん作業を進めています
希望の方に頒布しますので、是非ご

一読ください。

サイズ B五判 三〇〇頁

定価 一〇、〇〇〇円（税込）

送料 四一〇円

申込先

網走市北七条西三丁目（網走総合
庁舎内） 網走支庁管内総合開発期
成会 ☎〇一五二一四四一七二一
（内線五五二）まで。

佐呂間町PRビデオ 制作中

町では、より深みのあるPR事業
の展開を図るため、佐呂間の魅力を
映像化したビデオの制作を進めてお
ります。

佐呂間町の四季の移り変わりの中で
大自然とそこに生きる人々の姿を約
二十分程度に集約した、まさに「森
と湖の町サロマ」にふさわしい内容
のビデオです。

完成は五月中旬ごろになる予定で
すが、ビデオの詳細及び購入希望者
の取りまとめは、後日回覧にてご連
絡いたします。

（役場企画課）

停電のお知らせ

次のとおり作業停電を行います。

停電日時 平成4年5月17日（日）
午前8時00分～正午

停電区域 佐呂間町全域

停電理由 変電所定期点検及び送電線
保修作業のため

網走支庁東紋東部地区農業改良普及所 佐呂間駐在所の電話番号が変わります

今まで使われていた電話番号（2-2
934）がなくなり、佐呂間町農業協同
組合（2-3341）の内線53番と5
4番の2本になりました。

役場の電話番号が変わります

— 五月二十五日から課別直通番号へ —

役場の電話は、現在代表番号（二一三三一一）で交換手から各課へつないでおりますが、五月二十五日からは課別の直通番号に変わりますので、番号を確認のうえお掛けください。

また、どの課に掛けてよいかかわらないときや課別直通の番号が何度掛けても話し中のときは、案内（二一二二一一）へお掛けください。



各課直通電話番号

（※印は課内転送となります）

町長室	助役室	収入役室	総務課	企画課	民生課	財政課	建設課	産業課	農業委員会	議会事務局	選挙管理委員会	教育委員会	教育長室	管理課	社会教育課	案内	夜間・休日等
※二一〇二二	※二一〇二二	※二一〇二二	二一〇二二	二一〇二二	二一〇二二	二一〇二二	二一〇二二	二一〇二二	二一〇二二	二一〇二二	二一〇二二	二一〇二二	※二一〇二二	二一〇二二	二一〇二二	二一〇二二	二一〇二二

町営バス時刻表(夏ダイヤ) (5月1日から10月31日まで)

往 路				復 路			
停留所名	1 便	2 便	3 便	停留所名	1 便	2 便	3 便
佐 呂 間	6:30	12:45	17:00	浜 佐 呂 間	7:10	13:35	17:50
中 学 校 前	6:31	12:46	17:01	汐 見 町	7:12	13:37	17:52
高 校 前	6:32	12:47	17:02	幌 岩 学 校 前	7:17	13:42	17:57
北 会 館 前	6:35	12:50	17:05	浪速小学校前	7:24	13:49	18:04
長 屋 前	6:37	12:52	17:07	サロマ湖畔	7:28	13:53	18:08
トカロチ入口	6:42	12:57	17:12	トカロチ浜	7:35		
農 協 支 所	6:45	13:00	17:15	富 武 士 浜	7:40	13:55	18:10
三 号 線	6:47	13:02	17:17	保 育 所 前	7:41	13:56	18:11
保 育 所 前	6:49	13:04	17:19	三 号 線	7:43	13:58	18:13
トカロチ浜		13:10	17:25	農 協 支 所	7:45	14:00	18:15
富 武 士 浜	6:50	13:15	17:30	トカロチ入口	7:48	14:03	18:18
サロマ湖畔	6:50	13:17	17:32	長 屋 前	7:50	14:05	18:20
浪速小学校前	6:55	13:21	17:36	北 会 館 前	7:55	14:10	18:25
幌 岩 学 校 前	7:03	13:28	17:43	高 校 前	7:58	14:13	18:28
汐 見 町	7:08	13:33	17:48	中 学 校 前	7:59	14:14	18:29
浜 佐 呂 間	7:10	13:35	17:50	佐 呂 間	8:00	14:15	18:30

役場人事

(四月一日付)

総務課

・庶務係主査

主事 高橋 豊子

・浜佐呂間出張所主任(産業課畜政係)

主事 志賀 克浩

・庶務係(新採用)

主事 越智 正純

・若佐支所長(主幹)(開基百年記念準備室主幹)

主事 高橋 利治

企画課

・計画係(民生課付、若佐診療所)

主事 安藤 誠司

民生課

・民生課付、若佐診療所(財政課町民税係)

主事 林 洋樹

財政課

・資産税係長(農業委員会農地係長)

主事 伊藤 雅晃

・町民税係(新採用)

主事 大谷 宏明

産業課

・商工観光係長(若佐支所長)

主事 小池 一史

・水産係長(浜佐呂間出張所主任)

主事 谷口 義春

・農業土木係(新採用)

技師 桑島 孝之

・畜政係(新採用)

技師 向井 剛

・畜政係(新採用)

主事 本田 利明

建設課

・土木係長(建設課土木係長兼管理係長)

技師 上城 均

・管理係長(産業課水産係)

主事 名知 政志

・維持車輻係主査(建設課維持車輻係)

技師 金沢 国昭

・維持車輻係主査(建設課維持車輻係)

技師 杉森 博

教育委員会

社会教育課

・図書館管理係長兼奉仕係(図書館管理係長)

主事 金沢 美知子

・図書館奉仕係長兼管理係(産業課商工観光係長)

主事 金沢 美知子

主事 橋本 俊一

・社会教育係(社会教育係兼図書館管理係)

主事 河合 千尋

・農地係長(財政課資産税係長)

農業委員会

主事 仲川 倫則

・佐呂間保育所

・保母主査(保母)

技師 仲川 末子

特別養護老人ホーム

・特別養護老人ホーム看護婦(新採用)

技師 左高 加代子

・特別養護老人ホーム寮夫(新採用)

技師 澤田 智宏

・特別養護老人ホーム寮母(新採用)

技師 三澤 晴美

・遠軽地区広域組合消防署佐呂間支署

消防司令補 佐々木 博良

・消防係長(消防係長)

消防司令補 橋本 英夫

・消防団係長(消防係主任)

消防士長 天内 順治

・消防団係(総務課庶務係)

消防士長 天内 順治

・消防団係(総務課庶務係)

消防士長 天内 順治

退職

(三月三十一日付)

消防士 石川 直樹

技師 皆川 義人

寮母 菊池 喜久江

寮母 松本 トシ子

教員人事

小学校

転出

(校長)

阿部 正吉 西興部村立西興部小学校(磯岩小学校)

安達 健作 滝上町立滝上中学校(若里小学校)

(教頭)

佐藤 高士 端野町立端野中学校(知来小学校)

赤野 徳末 紋別市立紋別小学校(仁倉小学校)

(教諭)

伊藤 忠夫 斜里町立以久科小学校(若里小学校)

伊藤 一工 紋別市立上清滑小学校(富武小学校)

村上 英樹 上川郡風連町立日進小学校(佐呂間小学校)

大友 信也 紋別市立紋別小学校(若佐小学校)

下山 義博 端野町立端野小学校(磯岩小学校)

転入

(校長)

吉田 達 浜佐呂間小学校(斜里町立越川小学校)

本多 文雄 富武小学校(網走市立西小学校)

渡部 務 磯岩小学校(美幌町立旭小学校)

大和田 勲 若里小学校(清里町立清里小学校)

〈教頭〉

小野 弘 仁倉小学校(北見市立大正小学校)

柴田 武男 知来小学校(網走市立第三中学校)

〈教諭〉

木島 富勝 佐呂間小学校(津別町立津別小学校)

白鳥 時紀 幌若小学校(常呂町立錦木小学校)

木島 智美 富武士小学校(室蘭市立常磐小学校)

浜本 正志 若佐小学校(紋別市立紋別小学校)

〈養教〉

小林 恭子 浜佐呂間小学校(河東郡鹿追町立鹿追中学校)

〈事務職〉

松原 雄太 幌若小学校(新採用)

濱本 千秋 知来小学校(新採用)

木村 智恵 仁倉小学校(新採用)

▼転任

〈養教〉

横田 幸 仁倉小学校(浜佐呂間小学校)

▼退職

〈校長〉

千葉 勝儀 浜佐呂間中学校

赤塚 明 富武士小学校

〈教諭〉

大槻 幸男 佐呂間小学校

三浦 初男 佐呂間小学校

◎中学校

▼転出

〈教頭〉

崎野 道雄 北見市立豊地小学校(佐呂間中学校)

氏 義憲 紋別市立湖見中学校(若佐中学校)

〈教諭〉

佐々木信夫 湧別町立露小学校(若佐中学校)

上田 賀積 遠軽町立南中学校(佐呂間中学校)

矢野 聡 紋別市立清清水中学校(佐呂間中学校)

比留間信一 北見市立小泉中学校(佐呂間中学校)

大野 憲昭 中川郡美深町立美深中学校(佐呂間中学校)

山口 保 訓子府町立訓子府中学校(浜佐呂間中学校)

相原 巨利 北見市立緑小学校(浜佐呂間中学校)

仲野 寿浩 北見市立北光中学校(浜佐呂間中学校)

▼転入

〈教頭〉

西坂 俊典 佐呂間中学校(東藻琴村立東藻琴中学校)

服部 幸男 若佐中学校(西興部村立西興部中学校)

〈教諭〉

清水 克也 佐呂間中学校(目梨郡羅臼町立羅臼中学校)

三井 正 若佐中学校(留辺蘂町立留辺蘂中学校)

高岸 泉美 若佐中学校(北見市立東陵中学校)

金子 罔繁 浜佐呂間中学校(北見市立北光中学校)

高山 智之 浜佐呂間中学校(新採用)

斉藤 孝雄 浜佐呂間中学校(新採用)

▼退職

〈教諭〉

向井原大玄 若佐中学校

◎佐呂間高校

▼転出

〈教諭〉

三沢 勝 遠軽高校

古宇田一晃 滝川西高校

後藤ひとみ 苫小牧市立美園小学校

肥田野晶子 北見緑陵高校

〈事務職〉

根本 文夫 名寄工業高校

▼転入

〈教諭〉

桐尾きく枝 遠軽部濃高校

遠藤 祥悦 新採用

阿部 康子 新採用

〈事務職〉

小野 修志 札幌大森高校

▼退職

〈教諭〉

久保田由美子

〈公務補〉

織田 晃

野地 教明

篤志寄付(開基百年記念事業基金として)

一金 五十万円

この度、上湧別町遠軽舗道株式会社(代表取締役 渡辺寅喜氏)より、開基百年記念事業に役立ててほしいと、五十万円の篤志寄付がありました。たいへんありがとうございました。

眠っている「鯉のぼり」を 譲ってください

5月17日に若佐地区で行われる「わかさ花まつり」の行事の一つとして、毎年国道333号線にちなみ333匹の鯉を若佐神社前河川敷でおよがせています。

みなさまの家で眠っている鯉のぼりがありましたら譲ってください。

連絡先 花まつり実行委員会事務局
寺本 孝昭 ☎2-8135
(若佐郵便局内)



町長さん、お忙しいところ失礼します。

この度は発足以来一年三か月になるうとしているボランティアグループの現状と、これからのごみ問題に対する町の取り組みについて伺います。

私たちのグループも徐々に人数が増え毎回楽しく作業を進めています。一昨年十二月より始めました牛乳パックの処理は、一部の小学校や幼稚園、保育所、病院等の協力を得て、大六六、一一六枚・中一、〇〇一枚・小一三、四七〇枚になり、また昨年四月から手探りで集め始めたアルミ缶の方は五一四・六kgとなり、その他も含めた収益金は五三、七五四円にもなりました。今その使途を検討

中ではありますが、これもひとえに町民の皆様、ボ連協、社協、行政の方々が私たち主婦の小さなグループの考え方や行動に対し深いご理解と必要な支援をしてくださったお陰であると感謝しております。

しかし、今地球上の環境問題が伝えられ、道内市町村のごみ対策を知るにつけ、今私たちが行っていることはほんの一端でしかなく、佐呂間町としてはどのような方向に進みつつあるのかということは多くの町民（特に主婦）の関心事であろうと思われまます。

現在町で考え実施しようとしていることをお知らせくだされば幸いと存じます。

町長より

ご意見ありがとうございます。日頃ボランティアグループ睦会の皆さんには、忙しい毎日にもかかわらず常に心温まるご協力をいただいていることを、本誌をお借りし心より感謝申し上げます。

今回は環境問題についてのご意見であります。今年には世界環境会議がブラジルで開催されることになっており、世界中で最も関心の高い問題であります。

地球上の動植物が毎日著しい速度

で種が減っております。地球は人類の共有物であり決して自分だけのものではない。自らが自分の住んでいる地球を守り、次の世代に最適な条件で引き継がなければならないものと思います。世界から佐呂間町を見たとき、それは一つの点にしか過ぎない地域かもしれないですが、地球規模でものを考え地域で行動することが大切だと思います。

町といたしましてもごみ問題については大きな課題と認識しております。本町のごみ処理場も現状のような処理方法では十年足らずで使用不可能となるため、焼却処理を検討しております。そのためには町民の皆さんにごみ減量対策、分別収集、リサイクルなどの協力を願うことになります。現在民生課においてはこれらの取り組みについての具体策について研究しているところであります。その手始めとして、今年度は「生ごみ」を自分で処理し、堆肥として野菜畑などに利用してもらおうと考え、その容器（価格七、八千円）に対し助成をするべく予算化したしました。（詳しくは後ほどお知らせいたします。）

今後とも皆さんのご活躍をご期待申し上げます。

ぼくと
わたしの作品

今月は若佐小学校のお友だちの作品を紹介いたします。

山里
三年 六 戸 理 紗

のびのびと力づよい筆づかいです。山という字が特によく書けています。

くみず
五年 石 川 修

元氣よく堂々と書けました。



ベビーフェイス



富武士 大塚 洋文さん
裕子さん
長女 まゆみ 檀 ちゃん
平成3年2月26日生

みなさんはじめまして
私は 檀（まゆみ）です。

お父さんがつけてくれた
名前なのですが誰も「まゆ
み」と呼んでくれなくて。
お父さんは説明するのに大
変だったようです。

今では一歳も過ぎ、いつ
も家の中や外を元気に走り
回っています。お昼はほと
んどおじいちゃんの家に行
っているのですが、どちらが自
分の家かわかりません。

言葉も少しだけ「ジー
ジー・バーバー」と言える
のですが「父ちゃん・母ち

ゃん」とはまだ言えません。
（二人とも少しさみしいよ
うです）

挨拶も少しだけできるよ
うになりました。「こんに
ちは、どうもありがとう」
をまとめてしまい、頭をチ
ョコンと下げるだけなので
すが何とか通じているみた
い。（だって父ちゃんも母
ちゃんもみんな喜んでい
るから。）

こんな女の子ですが皆さ
んこれからもよろしくね。
バイバイ



佐呂間ダンス同好会

いま社交ダンスは全国的
なブームとなっています。
それは、体力に応じたダン
スができ、親睦や社交性を
兼ね健康な心身を養うのに
適しているからです。

佐呂間町でもここ数年來
子どもの養育を終えた方、
社会的活動を退かれた方な
どが中心となって活動して
いますが、男性が少ないの
が悩みの種。

同好会は二十年近い歴史
があり会員は三十名程、年
齢も三十代から七十代まで
と幅広く、毎週木曜日町民
センターで楽しく練習を行
っています。

マンボにディスコ、ブル
ースにジルバ、またルン
バやワルツなど、それぞれ
の技術に合ったダンスに挑
戦し、パーティなどでは実
力を発揮？しています。ま
た文化連盟主催の総合文化
祭のパーティを受け持ち、会
員の力で百名近くの入場者
を集め盛況とすることがで
きました。

同好会へはいつでも入会
することが出来ますので、
興味のある方はぜひ一度遊
びに来てください。お待ち
しています。

（佐呂間ダンス同好会
会長 山口哲夫）



田中 枝

四年 田中 君枝
ていねいによく描き込まれていま
す。もう少し影をつけたら靴の雰
囲気が出ましたね。



六年 林 和幸

勇ましく戻ってきた漁船を力づ
く書いています。特に船上の様子
細かくしっかりと書けた作品です。

「ご寄付ありがとうございました」

「ご寄付ありがとうございました」

▲ボランティア▼
佐呂間町婦人団体連絡協議会
●町立図書館へ

永代町 香川 健一さん
川滝 寛さん

▼香典返しを廃して

●社会福祉協議会へ

(亡夫 義行さん)

若里 福沢 キサさん

(亡母 栄枝さん)

知来 田中 武治さん

(亡母 ミヨさん)

永代町 五十嵐健治さん

(亡夫 常夫さん)

永代町 佐久美久子さん

北老人クラブへ

(亡夫 春一さん)

幸町 丸山ナミエさん

▲全快祝を廃して

●仁倉老人クラブへ

仁倉 津田スエノさん

▲結婚祝を記念して

●社会福祉協議会へ

仁倉 大塚 秀章さん

かおりさん

▼その他

●社会福祉協議会へ

佐呂間町文化連盟

オホーツク圏ボランティア

ブラザ

●特別養護老人ホームへ

▲寄付▼

富武士 上高 静さん

▲寄贈▼

若佐 湯本 利子さん

宮前町 岸本 忠さん

仁倉 渡辺 渡さん

岸組 のぞみ 会

佐呂間漁協婦人会

浜佐呂間婦人会

若佐 婦人会

佐呂間商工婦人会

佐呂間自治会婦人部

常呂漁組婦人部

(若里・トカロチ班)

奨学資金制度をご利用ください

平成四年度佐呂間町奨学資金の貸付を希望される方の、申請受付を次により行います。

一、奨学生の条件

(一)高等学校若しくはこれに準ずる講習所、または高等学校以上の学校若しくはこれに準ずる講習所に就学する方、または在学している方。

(二)学資の支弁が困難な方

(三)本町住民の子弟である方

二、奨学金の貸付

(一)高等学校若しくはこれに準ずる講習所に就学する方、ま

たは在学している方。

(二)学資の支弁が困難な方

(三)本町住民の子弟である方

二、奨学金の貸付

(一)高等学校若しくはこれに準ずる講習所に就学する方、ま

たは在学している方。

・月額 七千円

(二)高等学校以上の学校若しくはこれに準ずる講習所に就学する方、または在学している方。

・月額 一万八千円

三、貸付の申請

貸付の申請をされる方は、四月二十日までに教育委員会経理係へ申請してください。

※詳しくは、教育委員会経理係(☎二一三七〇八)まで問い合わせてください。

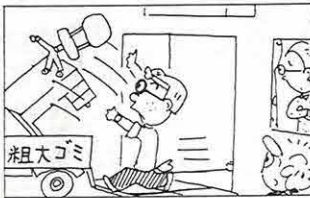
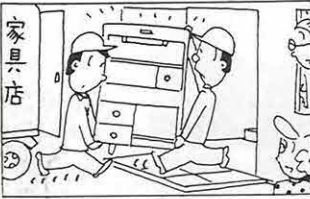
編集後記

♪表紙から...海明けを迎えた四月七日、富武士と若里漁港で漁船の船おろし作業が行われました。冬の間陸揚げされていた約九十隻をクレーンを使って組合員総出で海におろし、それぞれ漁への準備に取りかかっていました。早速ホタテ養殖施設の石上げ作業が行われ、今月下旬にはウニや外海ホタテの水揚げが始まります。

♪六日には町内各小学校で入学式が行われました。ピカピカの一年生たちは真新しい服装とちよつと緊張した様子で式に望んでいました。(お父さん、お母さんも久しぶりに緊張したのでは)

きわみか君

西村 宗



私たちのまち

人口	7,847	(前月比 (+5))
男	3,778	(+4)
女	4,069	(+1)
世帯数	2,536	(-1)

2月29日現在

5月の

土曜閉庁の日

5月9日・23日

です